



社会福祉法人ひまわり理念
 ・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
 ・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針
 ・利用者があるがまの姿を受け入れ、見守り、優しい安らぎのある施設にします
 ・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
 ・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
 ・社会で通用する接遇を修得し、利用者にも明るく（気持ちの良い）態度で接します
 ・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり 検索
 0978-52-2233 0978-66-5500 http://www.wel-himawari.net



平成24年度第2回 瑞雲荘運営支援委員会

2月12日に平成24年度第2回瑞雲荘運営支援委員会が開催されました。瑞雲荘の運営状況や杵築市との覚書の履行状況、瑞雲荘建替えについて報告を行いました。また、瑞雲荘建て替えについて、多床室で考えているのか、個室で考えているのかという質問や、ひまわり在宅部門での減収についての質問が寄せられました。



法人研修開催

当法人では定期的に全職員を対象に研修を行っています。今年度第四回目の法人研修は講師に大分銀行営業支援部徳永氏を迎え、「接遇・対応マナー基礎研修」を行いました。我々医療・福祉系の仕事もサービス業である以上、しっかりとした接遇・対応を行わなければならない。利用者様と職員の間で「信頼関係」をつくる事は大切ですが、それが「なじみの関係」へ、さらに「馴れ合いの関係」になってしまいがちです。しかし、そうならないようにこの様な研修を定期的に受けることはとても有意義に感じました。今後利用者様、地域の皆様に満足いただけるようなサービス提供を心がけていきます。



介護福祉士実技試験対策

社会福祉法人ひまわりでは介護福祉士の合同勉強会を開催しており、早速、筆記試験終了後に実技試験に向けての合同勉強会を開催しております。普段行っている身体介助も試験対策というフィリターを通して行ってみると、新たな発見があり、日頃行っている介助方法について点検と見直しが行えます。

1名でも多くの職員が資格取得をし、利用者様への接遇の向上に努めたいと思います。

訪問看護通信

きつき訪問看護ステーション

この時期は...

寒暖の差も激しく体調が不安定になり、暖房類の使用で知らない間に肌が乾燥し脱水になりがちです。この時期の脱水は夏とは違い塩分はさほど摂らなくても水やお茶を定期的な1日に最低1500mlは飲んで頂きたいです。

次に夜の入浴では服を脱いだ後の寒さ対策や浴室と浴槽内の温度の差が無いようにすることが重要です。外気温が下ると血圧は上り、冷えた体で熱い浴槽に入ると一気に血圧が下がり意識がなくなる時があります。

そして忘れてはいけないのが花粉症です。既に目がかゆく、鼻はムズムズして早速に薬を飲みながらの生活が始まっている方も居られると思います。

2月中旬には九州・四国地方に飛散開始のピークになります。今年は昨年の影響もあり他の地方に比べ飛散の量は少ないと予想されています。今はよいマスク等も市販されています。花粉症の方はこの時期からが大変ですが何とか乗り切れるよう応援いたします。

今宮

リハビリDE自立支援

皆さんこんにちは。寒いと自然と肩に力が入りますね。今回は肩こりについてです。

ひとえに肩こりと言っても様々な原因が考えられます。それゆえ、肩こりの予防法としては、正しい姿勢、適度な運動、ストレスに対する気分転換、快適な日常生活などがあげられます。では、肩こりの治療をいくつかご紹介します。

運動療法

自分自身で行うストレッチ、体操、筋力強化練習などがあり、温熱を加えた後に行えば効果的です。ストレッチ：頸、肩の筋肉を20〜30秒伸ばす方法で弾みをつけない事が大切です。

体操：頸を前後左右に倒す、左右に捻じる、回転させる。肩をすくめたり下げたりの上運動と肩甲骨を回転させる腕回し運動を行う。両腕を前方から後方へと大きく回し、反対方向にも回す。

筋力強化練習

手の平をおでこや後ろ頭、こめかみに当てて抵抗とし、頭を前後左右に押し付け。また、手の平を合わせお祈りをする形での運動を20秒ずつ行う。両手の指を掛け肘を肩の高さにして両側に引く。

その他病院などで行う治療があります。仕事や家事、介護でこった肩を労わって下さいね。ではまた次回。

古賀

編集後記

先日、瑞雲荘に65歳以下の利用者様が入所されました。脳梗塞により右半身に麻痺があり、生活の多くの場面でも介助を要する状態です。昨年まで障害者自立支援法のサービス利用にて在宅で生活されていた方です。

が脳梗塞を再発し入院加療。その後療養型病棟にてリハビリをしていましたが在宅での生活は困難との事で瑞雲荘に入所という経緯を辿りました。瑞雲荘の入所者の平均年齢は80代後半で、その方は最年少、いわゆる団塊の世代の方です。携帯電話を使用し、タバコも吸われます。私は日々その方とたくさん話をし、様々な意向を聞きます。出来る限り希望は叶えられるように支援していきたく思います。「まだ若いので社会復帰の希望もあり、希望として訴えられる内容も、リサイクルショップに行つて所有している家電製品を現金に替えたい等、様々で援助する側も大変だな、頑張らねば」と考えていたのですが、そこで気付かされた事がありました。私自身が認知症等の疾患で自身の意向を言えない利用者様の援助に慣れかけてしまい、本当に利用者様方の意向を代弁し、ケアプランに載せる事が出来ていないのでは無いかと言うことです。特別養護老人ホームは生活の場です。そこにはそれぞれの人生を送り、様々な経緯を経て入所されている方ばかりです。この方とお話をさせていただいた事で、ひとりひとり個別の支援が必要だと当たり前の事を再確認させて頂きました。

高尾

三楽園デイサービス

新年会 (鍋パーティー)

三楽園では、今年も新年会として鍋料理をお出し致しました。たくさんのお出でいただき、たぐさんの具が入った鍋料理はからだの芯まで温まり、この寒い時期には格別で、利用者様に好評でした。



豆まき

今年も節分に豆まきを行いました。女性職員扮する青鬼が現れると、皆様容

迎えをしていました。また、利用者様と一緒に踊るシーンもあり、皆様楽しそうにダンスをされていました。「久しぶりに踊ったあ〜」「みんな華やかでキレイだった」との声がありました。社交ダンスの皆様、大変ありがとうございました。



節分行事

2月2日に節分の豆まきをしました。赤鬼、青鬼に扮した職員が利用者様の席を周り、皆様日頃のストレスを発散させるかのように思う存分豆をぶつけていました。鬼たちはあまりの痛さに一目散に退散しました。ひまわりの悪い鬼を退治した皆様に「福」が来ますように。



赦無く「鬼は外！！」と豆を勢いよく投げ、退治されました。その後はにこやかな福の神が現れ、皆様、福が沢山舞い込むように福の神の手をとしつかりと握られていました。今年も皆様に福が訪れるように職員一同願っております。



三楽園利用者様作品



絵手紙「春の花」
木下東子様作品

バレンタインデー

2月14日と言えば・・・バレンタインデー！皆様な思い出があると思えますがひまわりからは日頃の感謝の意味も込めて利用者様にチョコレートを贈りました。男性の利用者様は照れながらも嬉しそうに受け取ってくださいました。



今月は節分をイメージした壁紙を利用者様と職員で作成しました。

瑞雲荘

初詣

瑞雲荘では1月24日に今年一年の健康祈願・病氣平癒等を祈って日出町にある愛宕神社へ初詣に出掛けました。利用者の皆様は鈴緒を「ジャランジャラン」と鳴らしながら思いの願いをさされていました。



節分行事

2月3日の節分に瑞雲荘でもやはり鬼が現れました。鬼を追い払うため、利用者の皆様は豆の代わりにお手玉を鬼に向かっけて投げつけると、鬼は何処かへ逃げ返っていきました。ちなみに節分は現在2月3日ですが平成32年からは閏年の関係で2月2日になるそうです。



手芸「花飾り」

「梅と利用者様による俳句」
手芸節分の壁掛け」



きじぎの里デイサービス

社交ダンス

1月18日に社交ダンスのボランティアの方々が来てくださいました。華やかな衣装を着た方々の登場に利用者様も拍手でお出